

支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）
支え合いバックアップ部会（B部会） 第7回打合せ記録

日時	平成29年11月14日（火）13時～14時40分	場所	清瀬獣医科病院
出席者	柳原部会長、近藤委員、村田委員 生活支援コーディネーター：森、鈴木、原田、鍵和田 市事務局：上垣、森田		

1 支え合い体験会について

(1) ひだまりサロン（10月20日に体験会実施）

- ・ スタッフに、支え合い体験ゲームを実施できないか相談。紹介する中で簡易的に実施。
- ・ 参加者同士で困りごとを相談する中で、「私がこれをやるわよ」などの助け合いにつながる発言が聞かれる。

(2) 今後の進め方

- ・ 旭が丘地域にて、団地自治会や老人会（旭が丘クラブ）、民生委員、ふれあい協力員にお声掛けし、支え合い体験会を実施する。支え合い体験ゲームを行って終了するのではなく、実際に地域で支えある関係に発展していくような「しかけ」を検討する。なお、実施に向けての調整については生活支援COが行っていく。
- ・ 地域の中では「たすけあい旭」や「地域通貨ピース」のように既に支え合いの活動を行っている団体が複数ある。担い手が不足している団体によっては、支え合い体験ゲームで発掘した人材を紹介することもできるが、団体がどのように考えているかは確認が必要。
11月～12月の間で、地域通貨ピースの方を対象にヒアリングを行い、その結果を部会で共有することとなる。

2 活動場所の確保や活動資金、広報に関する課題について

(1) 旭が丘団地内の空き店舗について

- ・ 旭が丘団地自治会から、空き店舗をサロンとして活用したいとの希望が市にあったため、可能性について市がURに費用等を打診中。今後、生活支援コーディネーターも関わり次年度実施の可能性について検討。

(2) 活動場所の確保について

- ・ サロン活動を行っている方から、「活動場所の確保が課題となっている」との意見が複数あり。一つの対応策として、11月～12月にかけて生活支援COが空き家活用について近隣の先行事例を2箇所程度視察し、12月部会にて報告を予定。
- ・ 活動をする上での資金の確保についても、順次検討を行う。
- ・ 空き家を探すことや活用に関する周知については、市報、社協だより、HPなど、引き続き、部会内で検討していく。

3 市報特集号について（事務局より）

- ・ 支え合い度チェックに関する項目と認定証の発行に関する案内を追加した。
- ・ 認定証については、このことをきっかけに、支え合いの取り組みに関心のある人とつながっていくことを目指す。

4 今後の予定

(1) 次回打合せ日程 未定（月に一度くらいの打合せが可能かどうか検討する）

(2) 本会・部会

- ・ 11/22（水）13時半～14時半 市役所第1・2委員会室